

2022年11月4日

各 位

会 社 名 住友商事株式会社  
代表者名 代表取締役 社長執行役員 CEO 兵頭 誠之  
(コード番号:8053、東証プライム)  
問合せ先 広報部長 長澤 修一  
(TEL:03-6285-3100)

2023年3月期 連結業績予想 及び 剰余金の配当(中間配当)並びに  
配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2023年3月期の連結業績予想 及び 剰余金の配当(中間配当) 並びに 配当予想に関し、下記のとおり、修正することを決定しましたので、お知らせ致します。

記

1. 連結業績予想の修正

(1) 修正の内容

2023年3月期 連結業績予想値の修正(2022年4月1日~2023年3月31日)

	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益
	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	370,000	296.00
今回修正予想(B)	550,000	439.96
増減額(B-A)	180,000	143.96
増減率(%)	48.6%	
(参考)前期実績 (2022年3月期)	463,694	370.79

(2) 修正の理由

世界経済が回復し、商品市況が高騰する中で収益機会を着実に利益に繋げたことにより、資源ビジネス・非資源ビジネスいずれも堅調に推移したことで、当第2四半期累計の実績が、2022年3月期決算発表時(2022年5月10日)に公表しました通期予想3,700億円に対して高進捗となっていることを踏まえ、当期利益の通期見通しを3,700億円から1,800億円増益の5,500億円に修正しました。

## 2. 剰余金の配当（中間配当）及び 配当予想の修正について

当社は、2022年11月4日開催の取締役会において、剰余金の配当（中間配当）及び 配当予想の修正について決議しました。

### (1) 剰余金の配当（中間配当）

	決定額 (2023年3月期 中間配当)	直近の配当予想 (2022年5月10日公表)	前期実績 (2022年3月期 中間配当)
基準日	2022年9月30日	同左	2021年9月30日
1株当たり配当金	57円50銭	45円00銭	45円00銭
配当金総額	71,889百万円	—	56,245百万円
効力発生日	2022年12月1日	—	2021年12月1日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

### (2) 配当予想の修正

2023年3月期（2022年4月1日～2023年3月31日）配当予想値の修正

基準日	1株当たり配当金（円）		
	第2四半期末	期 末	合 計
前 回 予 想	45円00銭	45円00銭	90円00銭
今 回 修 正 予 想		57円50銭	115円00銭
当 期 実 績	57円50銭		
前 期 実 績 (2022年3月期)	45円00銭	65円00銭	110円00銭

### (3) 修正の理由

当社は、株主の皆様に対して長期にわたり安定した配当を行うことを基本方針としつつ、中長期的な利益成長による配当額の増加を目指して取り組んでおります。

2022年度以降の株主還元方針については、DOE（株主資本配当率）3.5%～4.5%の範囲内で、連結配当性向30%を目安に、基礎的な収益力やキャッシュ・フローの状況等を勘案の上、年間の配当額を決定することとしています。その上で、当期利益実績の30%に相当する部分が上記範囲を超過した場合には、当該超過部分に対する配当あるいは自己株式の取得を柔軟かつ機動的に実施することとしています。

当期利益の通期見通しを5,500億円に上方修正したことを踏まえ、当期の予想年間配当金を、DOEレンジ上限（4.5%）の1株当たり115円（直近予想90円）、当期の中間配当金を、同半額の57円50銭とします（前期中間配当実績45円）。

また、DOEレンジ上限を超過する当期利益に対して、更なる株主還元の方法・金額等を検討の上、実施していきます。

以 上

#### (注) 将来情報に関するご注意

当社の経営目標及びその他の将来予測に関する開示内容は、将来の事象についての現時点における仮定及び予想並びに当社が現時点で入手している情報に基づいているため、今後の四囲の状況等により変化を余儀なくされるものであり、これらの目標や予想の達成及び将来の業績を保証するものではありません。したがって、これらの情報に全面的に依拠されることは控えられ、また、当社がこれらの情報を逐次改訂する義務を負うものではないことをご認識いただくようお願い申し上げます。